

ほめて認められて子は育つ

校長 藤井 和彦

師走を迎え、学校も二学期の学習・成績のまとめなど、何かとせわしいこの頃です。去る十一月十九日は学習発表会にご来賓の方々を始め、多くの地域・ご家族・保父母の皆様にお越しいただきました。生活科の学習、英語劇、地域学習、全校合唱、トランペット鼓隊の演奏など、児童は練習の成果を発揮し、一生懸命に発表し、仲間とともに達成感を味わうことができました。大変ありがとうございました。

聞いてみますと、児童の中にはせりふや表現を家族の方にも聞いてもらい見てもらい、合格になるまで何回も何回も練習に励んだ子もいるようです。学校行事や教育活動を通して学校と家庭がともに子供達に力をつけるべく関わり合っていききたいものだと思います。

我が家に詩人・相田みつをさんの日めくりカレンダーがあります。その中に「育てたように子は育つ」というページがあります。また、家庭教育のありようについて「子は親の鏡」「親の背中を見て子は育つ」など、多くの子育てのことわざにもありますように、子供たちはそばにいる私たち大人の生き方やふるまいを見て育ちますし、励ましや頑張りを認める声かけによっても自己肯定感を高め、意欲ややる気をもって物事に取り組みようとする姿勢も生まれます。

アメリカインディアンの教えの中に「ほめられる中で育った子はいつも感謝することを知ります。」「はげましを受けて育った子は自信を持ちます。」「人に認めてもらえる中で育った子は自分を大事にします。」「などがあり、学校教育にもこのことはよく当てはまるのだと思います。

それでは、保護者・地域の皆様、よい年をお迎えください。